

# 法人名 (公財)山梨県子牛育成協会

公益法人用

## 【法人の概要】

代表者名	加藤 啓		所管部(局)課	農政部畜産課		
所在地	北杜市小淵沢町大平10061		電話番号	0551-36-3200		
ホームページURL	http://www.yatuboku.jp		E-mailアドレス	yatuboku@io.ocn.ne.jp		
資本金(基本財産)	10,000	千円	設立年月日	昭和52年3月23日		
主な出資者	出資順位	出資者名		出資額		出資比率
	1	山梨県		10,000	千円	100.0 %
	2				千円	0.0 %
	3				千円	0.0 %
	4				千円	0.0 %
	5				千円	0.0 %
	その他	団体(者)			千円	0.0 %
設立目的	山梨県の子牛の生産、育成を振興し、もって畜産の安定発展に寄与すること。					
経緯概況等	経緯概況等: 県営八ヶ岳牧場は、条例に基づき県の肉用牛生産基地として、肉用牛繁殖育成事業を行ってきた。 昭和52年:(財)山梨県子牛育成協会が設立され、協会は県から牧場管理業務の一部を委託された。 昭和60年:県営八ヶ岳牧場から、県立八ヶ岳牧場と改称し、協会は県から牧場の管理業務を全面委任された。 平成5年:県立まきば公園と天女山分場整備に伴い、協会は県からまきば公園の管理業務を委託された。 平成12年:堆肥処理施設の稼働により、堆肥の販売を開始。 平成13年:周年預託業務を開始。 平成18年:県立八ヶ岳牧場、県立まきば公園の指定管理者となっている。 平成23年:公益財団法人に認定された。					

## 【主要事業の概要】

主な事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H21年度	H22年度	H23年度
事業1 八ヶ岳牧場業務	県有肉用繁殖牛の飼養、生産子牛の育成及び売却。 農家有家畜(牛・馬)の周年受託業務。 草地等の維持管理業務。農家の巡回調査指導業務。 肉用牛の改良増殖業務。 家畜排泄物処理業務等	230,913	221,763	210,526
事業2 まきば公園業務	めん羊(サフォーク種)の増殖業務及びふれあい動物の飼養管理。 公園施設、草地、植栽の維持管理。 来園者の対応、各種イベントの開催。	16,037	15,284	17,690
事業3				

## 【組織】

年度	平成22年度					平成23年度					平成24年度							
	職 員	プロ パー 職員	派遣 兼 業務	県 職 員	県 O B	その 他	職 員	プロ パー 職員	派遣 兼 業務	県 職 員	県 O B	その 他	職 員	プロ パー 職員	派遣 兼 業務	県 職 員	県 O B	その 他
4月1日現在の人員																		
役員	理事(常勤)	1			1		1			1		1				1		6
	理事(非常勤)	8		2		6	8		2		6	8		2				6
	監事(常勤)	0					0					0						
	監事(非常勤)	2		1		1	2				2	2						2
	評議員	0					5				5	5						5
計	11	0	3	1	7	16	0	2	1	13	16	0	2	1			13	
職員	管理職	2	2				2	2				2	2					
	一般職員	19	19				19	19				19	19					
	臨時職員	2				2	2				2	2						2
	非常勤職員	0					0				0							
計	23	21	0	0	2	23	21	0	0	2	23	21	0	0			2	
プロパー職員の年齢構成 (H25. 4. 1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計							平均年齢		平均年収	
	男性		2	5	5	7		19	役員					※		(千円)		
	女性		1		1			2	常勤					※		(千円)		
	合計	0	3	5	6	7	0	21	職員					43		5,385		

※ 常勤役員は1名のため個人情報保護の観点から、非公表。

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		21年度	22年度	23年度	増減(23-22)
正味財産の状況	基本財産運用益	150	150	150	0
	受取会費・受取寄付金	0	0	0	0
	受託事業収益	207,809	210,579	208,975	△ 1,604
	自主事業収益	37,316	41,167	42,114	946
	受取補助金等	0	0	0	0
	その他の収益	22,782	5,314	2,439	△ 2,874
	経常収入 計	268,057	257,210	253,678	△ 3,533
	事業費	246,950	237,047	242,309	5,262
	うち人件費	148,758	138,121	142,689	4,568
	管理費	20,654	17,636	6,518	△ 11,118
	うち人件費	16,788	15,445	5,642	△ 9,803
	経常支出 計	267,604	254,684	248,827	
	当期経常増減額	453	2,526	4,850	2,324
	経常外収入	0	0	0	0
	経常外支出	0	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	453	2,526	4,850	2,324
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	
正味財産期末残高	44,819	47,346	52,196	4,850	

(単位:千円)

項 目		21年度	22年度	23年度	増減(23-22)
財務状況	流動資産	32,358	28,063	40,534	12,471
	固定資産	98,206	96,825	103,583	6,759
	資産 計	130,565	124,888	144,117	19,229
	流動負債	18,791	13,714	21,334	7,621
	うち短期借入金	0	0	0	0
	固定負債	66,954	63,828	70,587	6,759
	うち長期借入金	0	0	0	0
	負債 計	85,745	77,542	91,921	14,379
	正味財産	44,819	47,346	52,196	4,850
	うち基本財産への充当額	10,000	10,000	10,000	
うち特定資産への充当額	5,213	6,617	8,272		

(単位:千円)

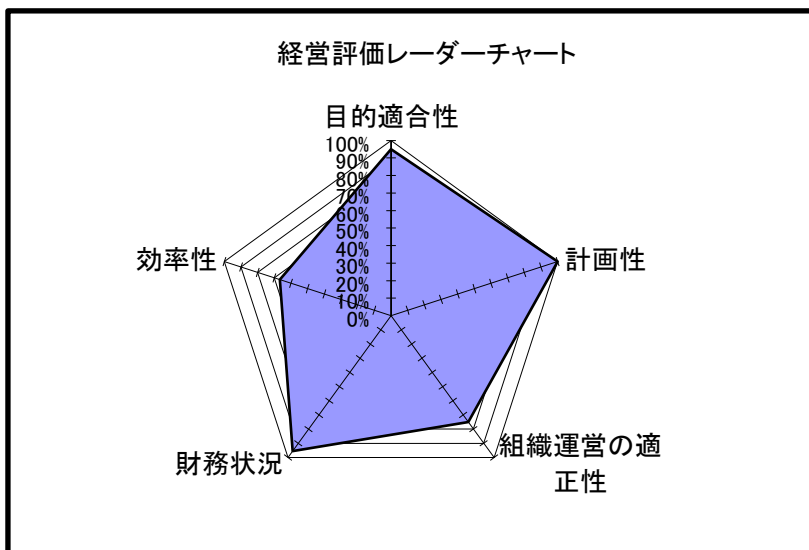
項 目		21年度	22年度	23年度	増減(23-22)
県の財政的関与の状況	負担金	0	0	0	0
	人件費(派遣法)補助金	0	0	0	0
	人件費(派遣法以外)補助金	0	0	0	0
	人件費以外の補助金	0	0	0	0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金	0	0	0	0
	補助金 計	0	0	0	0
	人件費(派遣法)委託金	0	0	0	0
	人件費(派遣法以外)委託金	150,373	142,645	147,665	5,020
	人件費以外の委託金	57,436	67,934	61,310	△ 6,624
	委託金 計	207,809	210,579	208,975	△ 1,604
	県支出金 計	207,809	210,579	208,975	△ 1,604
	県の財政的関与の割合(%)	77.5	81.9	82.4	1
県貸付金残高				0	
県債務負担実際残高				0	

【県の財政的関与の内容・目的・金額】

項目	内容・目的・金額
負担金	該当なし
補助金 (運営費)	該当なし
補助金 (事業費)	該当なし
委託金	指定管理者制度に基づき、管理委託料が支払われている。
債務負担行為	「県立ハヶ岳牧場」および「県立まきば公園」の管理は5年間の債務負担行為に基づき、管理委託料として執行している。

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	5	20	19	95.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	5	20	20	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	4	16	12	75.0%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	11	44	42	95.5%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	9	36	24	66.7%
合計		34	136	117	86.0%



【警戒指標】

--

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	農家家畜の受託と肉用牛の改良および生産・売却を行い、畜産農家の経営安定に寄与するとともに、本県の畜産振興を図るため、指定管理者として基本協定に基づく業務を行い、事業目的の達成に努めている。
計画性	毎年度、事業計画を設定し、より効率的な管理運営と経営の安定を図っている。 また、計画的に施設改善等を行い善良管理に努めている。
組織運営の適正性	指定管理者として管理運営するに伴い、組織、職員数等を見直しており運営は適正に行っている。 また、平成23年からは公益財団法人として認定され、内部管理を適切に行い、透明性の高い健全な運営に努めている。
財務状況	主要な財源を管理委託料と独自の収入源である利用料収入で充当して運営している。利用料収入は目標額を確保しており、支出の削減に努めたことにより経常損益はプラスであったが、公益財団法人には収支相償が求められており、次年度以降に計画的に有効活用していく。
効率性	従前より運営方法の効率化を図ってきたところである。公益財団法人移行に伴い新たな経費も発生しているが、今後も人件費の抑制や経費削減に努め、更なる利用者数の確保と創意工夫による効率的運営を進めていく。
総合的評価	実施事業は全て公益事業に認定され、設立目的は適切に達成しており事業の公益性は高い。 冬期受託の受入増頭により利用者のニーズに応えているが、経営的には飼料費等の飼養経費が増加しており、自給飼料を安定的に確保するために、獣害防止等の対策を実施しているところである。



対応策	八ヶ岳牧場業務については、衛生対策の充実と受精卵移植等の繁殖に関するサービスを充実し、優良肉用牛の安定供給と受託頭数の拡大を図ると共に、粗飼料の増産により運営経費の削減に努める。 まきば公園業務については、園内美化に努め、新規イベントの企画や内容を充実し利用者数の拡大を図る。 牧場と公園の連携による効率的な運営と利用者へのサービス向上を図り、インターネット等により情報を積極的に公開する。 公益財団法人移行後の諸問題に対処し、適正な法人運営を進めていく。
-----	---

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	本県における大家畜の畜産振興を推進するため、県条例並びに当協会設置目的に従い適切に受託事業等を実施している。 本県の畜産振興の推進に寄与しており、目的に十分に適合している。
計画性	年次計画に基づいて効率的な組織運営が行なわれており、今後も適切な管理・運営の継続が見込まれる。
組織運営の適正性	協会の運営は、最小限の役職員により的確かつ効率的に行なわれており、人事・財務等の内部管理体制も適切に運用されていることから、組織運営は適正である。
財務状況	利用料収入の確保や事業経費の削減等に努めた結果、経常損益は黒字となり、財務状況は安定している。平成23年度から公益財団法人となり収支相償が求められているため、次年度以降、利益の計画的な有効活用を図る必要がある。
効率性	公益財団法人移行に伴い新たな経費負担も発生している中での人件費の抑制や経費削減は評価できる。今後も、目標の達成に向け、さらなる利用者サービスの向上と積極的なPR活動による利用者の確保に努めていく必要がある。
総合的評価	協会の存在意義、組織体制、財務状況、職員の技術能力や意識水準から総合的に高く評価できる。今後も、より一層の合理的な経営等に努めていく必要がある。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営評価アドバイザーによる総合評価)

今後更なる改善、見直しを行うべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">財務状況</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <b>A</b> (75%~)         </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <b>B</b> (60%~75%)         </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <b>C</b> (50%~60%)         </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <b>D</b> (~50%)         </div> </div> <p>・ 県立八ヶ岳牧場等の指定管理者となっており、利用者サービスの向上や経費削減などの経営努力を行い黒字決算が続いている。          ・ 数値目標であるまきば公園の入園者数は達成できなかったが、昨年度より増加しており、八ヶ岳牧場の受託頭数も引き続き増加している。          ・ 今後も、公益法人として収支のバランスを取りながら、サービスの向上や施設利用実績の改善につながる取り組みを引き続き行っていく必要がある。</p>
※ ランク下の%は得点率の範囲	



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<p>八ヶ岳牧場の管理運営については、県有牛の改良増殖と優良な肉用素牛の販売並びに預託牛への受精卵移植等の繁殖サービスを充実し利用頭数の拡大に努めるとともに新規利用者の開拓に取り組んでいく。          まきば公園管理業務については、顧客満足度の高い公園を目指し園内美化に努め新たなイベントの企画や内容の見直しに取り組んでいく。          本県畜産の安定的発展に寄与するという公益性の高い設立目的に沿って、公益財団法人として健全な管理運営に努めていく。</p>
---